

We Serve 思いやりと多様性で結束する

We Serve United in Kindness and Diversity



国際会長テーマ We Serve

国際会長

ジュンヨル・チョイ

DR. JUNG-YUL CHOI

釜山第一ライオンズクラブ (韓国)

国際会長メッセージ

思いやりと多様性で結束する

United in Kindness and Diversity

前国際第1副会長 故ヘインズ H. タウンゼントは、「Kindness Matters (思いやりは大切なこと)」を提唱されました。

ところが、2019年12月17日、タウンゼント副会長が逝去されました。

このため、ライオンズクラブ国際協会は、後任の第1副会長に、ダグラス X. アレキサンダー元国際理事を任命しました。アレキサンダー国際第1副会長は、故タウンゼント副会長の遺志を継ぎ、同一方針で運営されることを約束されました。

しかし、新型コロナウイルス (COVID-19) の影響により、シンガポール国際大会は完全中止となり、国際執行役員の選任ができないことから、現在の執行役員の任期が次のモントリオール国際大会 (2021年6月開催予定) まで延長されました。

したがって、チョイ国際会長が、次のモントリオール国際大会まで国際会長の職を務められることとなりました。

チョイ国際会長は、故タウンゼント副会長の遺志「Kindness Matters」を取り入れられ、国際会長メッセージを「思いやりと多様性で結束する」とされました。

新型コロナウイルスの影響が全世界に被害を及している今こそ、故タウンゼント副会長の提唱された「思いやり」をもって、「思いやり」のあるアクティビティを実践することが大切なことではないでしょうか。

チョイ国際会長は、「世界は今、これまで以上に思いやりを必要としています。これまで以上に、ライオンズを必要としています。全140万人の一人ひとりが、その多様な才能、経験、文化を私たちの奉仕に注ぎ込む必要があるのです。」そして、「私たちは結束して希望のメッセージを広め、世界をより良い場所にしていきます。」と宣言されました。

この1年間、この国際会長スローガンとメッセージのもと、335-B地区の運営を行ってまいります。



国際第1副会長

ダグラス X. アレキサンダー

Douglas X. Alexander



思いやりは、大切なこと

タウンゼント国際第1副会長は、優秀な人であり、謙虚な人であり、人々を助け癒す思いやりの力を信じる人でした。自分の判断に人々の人生と運命がかかっていることを理解し、誠意と、人としての心をもって、法廷を主宰した判事でした。自分たちを突き動かすものが目的であるなら、自分たちが従うべきものは思いやりの心であると信じるリーダーでした。そして何より、彼はライオンでありました。



要職にある世界的リーダーを失うのは辛いことです。しかし、このような人格者を失うのはもっと辛いことです。私たちはタウンゼント副会長と過ごした時間をいつまでも忘れません。そしてライオンズに対する彼のビジョンを、思いやりの世界を、現実のものとするためにこれからも前進し続けます。



「すべての人が毎日少しずつ小さな親切を行えば、世界に与える影響は大きなものになるでしょう」